

みつき便り

149号
2月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成31年2月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

皆様へ

今回はとても悲しいお知らせをしなければなりません。一生懸命咲いている花達を、根ごと掘り出して、持ち去って行く人がいるのです。以前から時々あったのですが、昨年から特にひどくなつてしまいました。とても残念で、悲しいことです。

見次の会の会員が、心を込めて植え付け、水やりをしている花達です。肥料や苗を購入するため会員で費用を工面し、公園を訪れる皆さんに喜んでいただけるような花壇にしようとかんばっています。

そんな気持ちを踏みにじるように、持ち去られた跡の黒い穴がいくつも空いている、悲しい花壇になってしまい、私達の心も暗く沈んでしまいました。

自分だけで楽しむのではなく、多くの人々と一緒に楽しみましょう。

もうすぐ春です。土の中で眠っている球根や、固い殻の中で身を潜めている蕾、そしてこの見次公園を愛して下さ

る地域の皆さんと一緒に、そこまでやってきている春を待ちましょう。皆さんの温かいご協力をよろしくお願いいたします。
(静)



ミミズ (蚯蚓)

暦の上では立春を迎え、一年の内でも一番寒い季節になりました。寒さに負けない元気な草花たちが、色鮮やかな花を咲かせ、多くの人たちの目を楽しませてくれています。

今回は、この花を元気にしてくれる働き者を紹介します。ミミズ君です。ミミズの仲間もたくさんいますが、ここでは花壇や畑の土の中で良く見られるシマミミズです。

ミミズの語源は、目や手足

がないので「目見えず」からメメズになり転じてミミズという説が有名です。子ども頃、「ミミズにおしっこをすると、オチンチンが腫れるよ」と大人から聞かされた事はないでしようか？これは俗説で、田や畑に養分を与える有益なミミズに尊敬と感謝する由来からきた迷信のようです。

ミミズは腐葉土などの土壌を先端の口から食べ長い腸を通り、肛門から細かく分解された養分の多い糞が排出され、草花に良い土壌になります。

見次の会でも、花壇の一部に堆肥場を区役所に設置していただき、腐葉土を作っています。更にミミズ君にも手伝ってもらい、土壌改良をして元気の良い花が咲くよう頑張つてもらいます。
(圭)

